

第3章 本県農業・農村の目指す姿

基本理念

本県は、豊かな自然に恵まれ、首都圏に位置する有利な立地条件を活かし、県内外の消費者に多彩な農産物を供給しています。

また、先人たちの努力により、県内各地で高度な生産技術や生産基盤が築かれ、食文化や農村の伝統などが継承されています。

これらの特色を活かし、本県では、優れた産地や担い手が数多く育ち、全国に誇れる先進的な取組みみられるようになっていきます。

今後は、こういった強みを一層活かし、本県の農業・農村の持つ限りない可能性を将来に向かって大きくはばたかせることが重要です。

一方、近年、食品に関する不祥事や事件の発生もあり、食料の多くを輸入に依存していることから、食の安全と安定供給は県民にとって高い関心事となっています。

このようなことから、本県農業・農村は、担い手が安定した所得を確保し、農業が魅力ある産業として発展し続けることが重要であり、この持続的な農業生産活動が適正に営まれることにより、洪水の防止や水資源のかん養、農村景観の形成など、農業・農村の持つ多面的な機能を発揮することが可能となります。

さらに、食の安全確保や、消費者への安心の提供に果たす本県農業の役割は、今後も一層重要になってくることから、次の3つを本プランの基本理念として掲げ、県民一人ひとりの理解と支持によりその実現を目指すものとします。

県民一人ひとりの理解と支持により、

競争力のある農産物の生産により、意欲ある担い手が安定した所得を確保し、
魅力ある産業として発展し続ける力強い「農業」

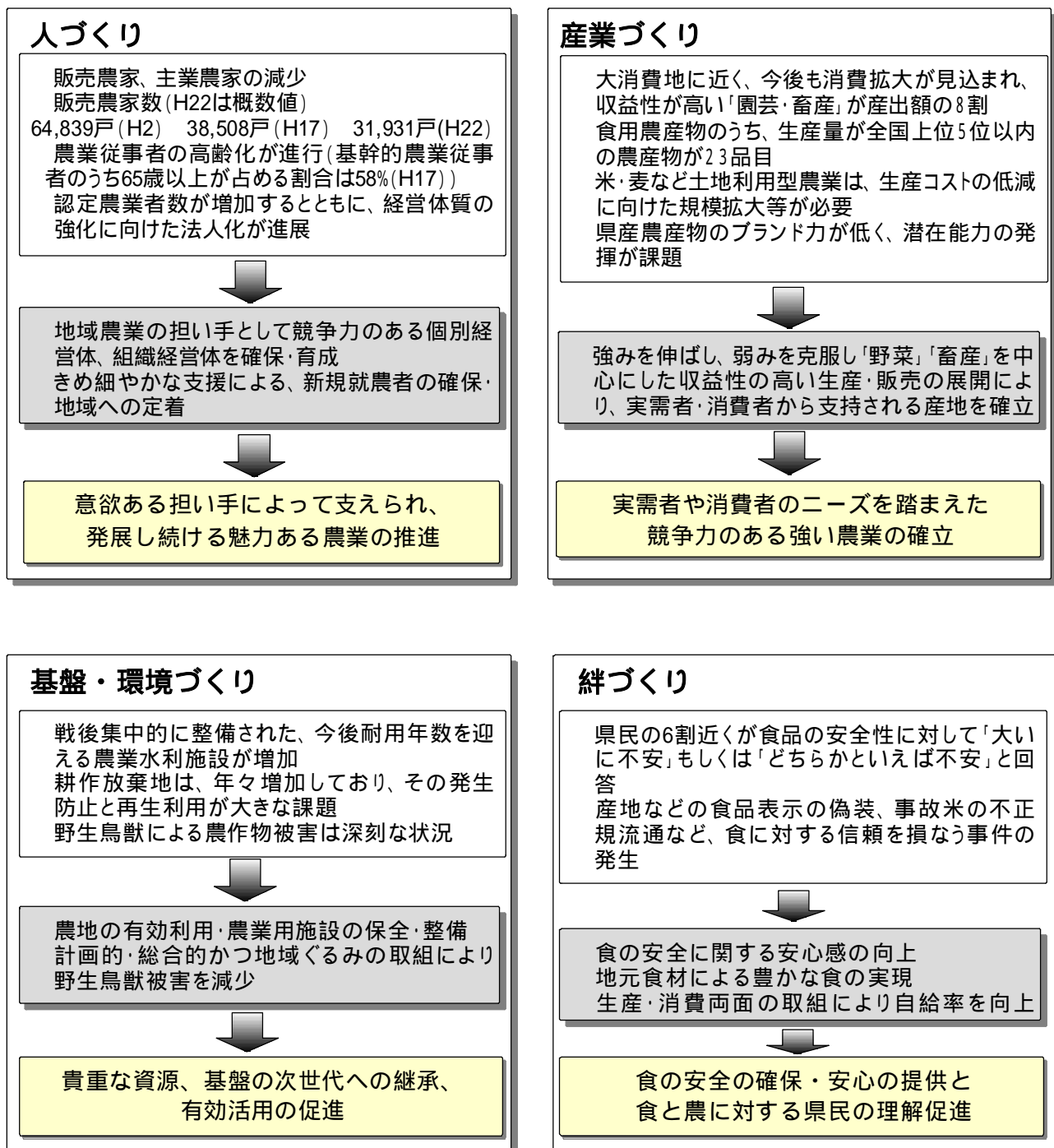
農業生産の場として、さらには、洪水の防止や水資源のかん養、美しい農村景観の形成、
食文化の伝承など、様々なかたちで県民の暮らしを支える活力ある「農村」

県民の豊かな食生活を支え、多彩で安全な「食」を安定供給する「農業」「農村」

の実現を目指します。

プランの目指す方向

基本理念に基づき、県では、今後5年間で、意欲ある担い手によって支えられ、消費者のニーズを踏まえた競争力のある強い農業の確立を目指します。このため、農業生産を支える基盤などを有効に活用するとともに、貴重な生産基盤や農村環境を次代へと確実に継承していきます。また、食と農に対する県民の理解促進、食の安全の確保と安心の提供により、県民の豊かな生活の実現を目指します。



基本目標

基本理念のもと、目指すべき4つの方向を踏まえ、本プランは今後5年間で、力強い農業を担う「人づくり」、競争力のある農産物を創り出す「産業づくり」、持続的な生産を支える「基盤・環境づくり」、豊かで安全な食を育む農と県民の「絆づくり」を柱に据え、農業の振興を通じて、子どもから高齢者までの全ての県民が、幸せに生き生きと暮らすことのできる「豊かで活力ある農業・農村の実現」に向け、施策を展開していきます。

